

REMOVAL
ASSIST
HOOD

レース専用 緊急ヘルメット脱着システム

「アシストフード」発売

脱帽



① 傷病者を観察

ヘルメットシールドを開き、傷病者を観察。



② あご紐を外す

傷病者の首を安定させて、あご紐を外す。



③ アシストフードを確認

傷病者が装着しているアシストフードを確認。



④ リングを展開

あごにかかっているアシストフード部に指をかけて引っ張り、左右のリングを展開させる。



⑤ リングをつかむ

傷病者のヘルメットを支え、展開したアシストフードのリングに両手をかける。



⑥ リングを広げる

脱帽具合を確認しながらリングを左右にグッと広げる。



⑦ 脱帽状態を確認

ヘルメットが完全に脱げる直前に、傷病者頭部の保持が確実に行われているか確認する。



⑧ 脱帽完了

レースに使用されるヘルメットは、高速走行時のブレを防ぐため、一般走行よりも小さいサイズが選ばれる場合が多く、そのために着脱時にきつさを感じる場合があります。一方、サーキット走行時の転倒などにおいては、転倒したライダーのヘルメットをレスキュー隊など第三者が脱がさなければならぬ状況も発生します。

その第三者が転倒したライダーのヘルメットを「きつさを感じず」「より容易に」脱がせる作業をサポートする「アシストフード」を開発しました。

このアシストフードは、頸椎に負荷を加えることなく、傷病者からヘルメットを脱がすことを目的として開発された緊急時脱着システムで、ヘルメットの機能を損なわず、改造もいっさい必要とせず、メーカー問わずほとんどすべてのヘルメットに対応可能となっています。

すでに、MFJなどレース関係者にアシストフードを紹介し、MFJでは今年度の安全対策の一環として、レースに出場するライダーに、アシストフードの使用を推奨する方針を出していただいています。

アシストフードのしくみ



アシストフードによる脱帽プロセスでは、ヘルメットを脱がせる際の力は顔頂部に加わります。この事により、ヘルメットを脱がせる時の傷病者の頸椎への負担を少ないものとしています。

アライヘルメットが今回発売させていただく「アシストフード」は、ヘルメット内装に使用されている冷・乾内装布地ソフィスタを使用し、装着時に違和感なく使用できるようにしています。

また、アライヘルメットユーザーだけでなく、多くのレーシングライダーが使用できるよう、他メーカーでの製作希望があれば、無償で特許使用許可を出す予定です。

アシストフード ¥2,000 (税込 ¥2,100)

装着



① 顔目を外側に向け、アシストフードをかぶる。右側二つのリングを重ねる。(フードは前後共通)



② アシストフードの左側のリング先端を



③ で重ね合わせた右側のリングに通す。



④ 通し終えたリング先端を持ち、下方へグッと引っ張る。(引き具合で、首元への締め加減が調節可能)



⑤ リング先端をアシストフードの頬部に差し込み、外へはみ出さないように押し込む。



⑥ これでアシストフードの装着完了!